



8本の優勝旗に囲まれて

第14代校長 西 良 嗣

私の大好きな母校、坂中での勤務が教諭10年・校長4年の計14年間。自分の坂中生時代を含めると17年間もお世話になりました。私を育て、磨き、鍛えてくれた学校であります。教諭時代は私が31才から40才までの若かりし頃で、未熟で、まだまだ勉強中の身でありました。

しかし、個性豊かなベテランの諸先輩教師から教えられ鍛えられました。毎年、学級担任でしたが、当時の生徒たちは元気はつらつ、全てに全力を尽し、優秀で悩みもありましたが教師冥利につきました。

私が校長として赴任したのは平成10年でした。前任の名校長、成川嘉則先生の後ということで緊張もし、以前勤務経験があるとは言え、責任ある校長としての立場上、苦しく不安でもありました。しかし、やはり地元ゆえ、教員や保護者、PTA役員の方々に知り合いも多く、だんだんと心安かくなったように思います。学校は「創立五十周年記念事業」のあとということで整備され、運営しやすかったです。中学校の規模としては一番やりやすい、一学年4クラスが続き、最高でした。

時代の流れとは言え、多い時には、「F組」までの一学年で6クラスもあり、県南の伝統ある実力校だった坂中が統合されるとは夢にも思わなかったことです。しかし、お隣の伝統校の立江中学校と統合され、一段と飛躍し、充実した新中学校に生まれ変わるのでから期待せずにはられません。すばらしい新校舎で、生き生と活動し、新しい伝統を作ることを楽しみにしています。

次に私の4年間で、印象深いことを2つ記します。

(1) 8本の優勝旗に囲まれて

校長3年目の9月に、校長室に8本もの優勝旗が並びました。市の総体の優勝旗です。市内11種目のうち、8種目の団体戦での結果ですから驚きました。団体8種目と個人戦の上位入賞者も多数いましたから、それは壮観でした。県総体激励会で舞台一杯の選手達でした。毎日、校長室で優勝旗を見るたびに、汗にまみれた選手達と熱心に指導してくれた教師への感謝の気持で胸が熱くなりました。

その上、翌年も、教師監督の好指導のもと四市野球大会優勝と県中軟式野球秋季リーグ戦の優勝という輝かしい伝統をつくってくれました。まさに強豪校への仲間入りです。

(2) 進路体験学習始まる

赴任後より、新しい教育課程への移行が始まり「ゆとり教育の導入」で、先進研究校を参考に「進路体験学習」を取り入れました。資料も少なく手さぐり状態でしたが、熱心な二年集団のもと歩み出しました。夏休みの暑い3日間でしたが、生徒達はよく頑張り、成功しました。

これらは、地域、保護者の温かいご支援とご協力のお蔭であり、深く感謝申し上げます。